

港区立青南小学校 授業改善に向けた視点

平成30年度

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○思考力・判断力・表現力等を育成するために、言語活動をすべての教育活動において重視し、授業改善に努める。 ○全校体制による読書指導を充実させる。 ○体験的・問題解決的な学習を重視する。 ○第2校庭・あおの森を活用した教育活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた指導方法を充実させる。 ○時程の工夫及び土曜日授業実施による時数確保を行う。 ○異学年交流を重視した特別活動を充実させる。 ○地域や企業の人材を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導と評価の一体化を進める。 ○学校評価の充実…自己評価・学校関係者評価・第三者評価を「改善サイクル」に沿って実施 ○中間学校評価の授業改善への反映 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研究主題「運動をする楽しさに気付き、自ら課題解決をする児童の育成」に向けて、運動の特性を考え、課題設定・解決のプロセスを大切に授業研究 ☆理数フロンティア校としてのテーマ「くらしに見つけくらしに広げる理科学習」の取り組みを継続し理数教育の推進を図る。 ○OJTの積極的推進 ○ICTを活用した授業のあり方 ○CSTを活用した実技研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校公開、土曜授業日で授業を公開する。 ○学校評議員会・学校保健委員会を積極的に活用する。 ○「文化芸術サロン構想」に基づく地域人材（卒業生等）を活用する。 ○家庭との連携による家庭学習、児童に地域の諸行事への積極的参加を奨励する。 ○学校ホームページ及び学校だよりによる情報公開を充実させる。 ○青山アカデミーにおける幼小中の連携を一層推進する。
具 体 的 な 取 組				
<ul style="list-style-type: none"> ・各教科等における「言語活動」をより一層重視した指導を展開する。 ・図書室・学習資料室の充実を図り、活用できる体制をつくる。 ・生活科・理科・社会科・総合的な学習の時間を中心として、地域やゲストティーチャーなどの多くの方々とふれあう機会を積極的に導入する。児童が意欲的・主体的に問題解決を行う場を設定する。 ・生活科、理科、体育科、総合的な学習の時間の活用実践例を収集し、校内でのさらなる効果的な活用をうながす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導担当者と担任との連携をより一層図り、区費講師も含めた指導体制の充実を目指す。 ・TT及び少人数指導において、内容と個々の習熟度を踏まえ、授業形態や指導方法について検討する。 ・B時程、土曜授業の実施 ・「わくわくタイム」による児童集会。体育・音楽・保健指導の朝会実施。 ・週案簿・時数表の管理体制の整備を行う。 ・縦割り班活動を計画的に実施する。 ・地域人材・文化等の情報管理を行い、活用記録を残す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらい、課題が明確な授業を行う。児童が成果を振り返り、次の課題へとつなげられるようにする。 ・一単位時間及び単元の目標が達成された場合の具体的な児童の姿を、ゴールイメージとして設定する。 ・TT及び少人数指導の評価を随時実施し、個に応じた指導の手立てを講じる。 ・保護者や児童を対象にした「外部アンケート」を活用した、教職員による自己評価を行事後・学期末及び学年末に行い、検討・改善する。 ・学校評議員会へ積極的に情報提供し、共通理解を図るとともに改善に資する意見の提供を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育科における研究授業の実施・評価・改善 ・分科会を中心とするOJTの推進。 ・毎週木曜日の学年会・専科会の確保。 ・ICT機器を活用した授業に関する意見交換によるOJTの推進。 ・実物投影機やPCを効果的に活用した実践事例の共有化。 ・理科指導における家庭との連携及び系統性を踏まえた指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な項目を検討して保護者や児童を対象に「外部アンケート」を実施する。 ・学校評議員会及び学校保健委員会の事前準備充実により評議員会の活性化を図る。 ・青南小地域人材支援本部を活用し、地域諸施設・人材と連携した授業を行う。 ・ランチルーム給食（食育）やお話ポケット（読書活動）についてPTAと連携する。 ・幼小中の系統性を踏まえた授業の実施する。
成 果 と 課 題				